



2015 年 4 月 2 日

## **BMW i8 が「ワールド・グリーン・カー賞」を受賞**

➤ **将来性のある総合コンセプトを打ち出したスポーツ・カーが、今年の BMW i3 の成功を引き継ぐ。**

### **ミュンヘン発:**

BMW i は「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」の「ワールド・グリーン・カー」部門で 2 年連続の栄誉に輝いた。昨年、純粋な電気駆動車である BMW i3 が受賞したのに続き、今回は BMW i8 がニューヨーク国際自動車ショーでこの名高い賞を獲得した。「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」の国際的な審査員団は、先駆的なプラグイン式ハイブリッド駆動技術と革新的なライトウェイト構造との組み合わせおよびアバンギャルドなデザインを評価し、このスポーツ・カーを選出した。また、「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー 2015」の「ワールド・ラグジュアリー・カー」部門でも最終選考に残ったことで、BMW i8 の特別なポジションが強調された。

「ミュンヘンのチームを代表してこの賞をいただけることを、大変嬉しく思っています。」ドイツ BMW 本社の取締役会メンバーであり、BMW セールス&マーケティングおよび BMW Group セールス・ネットワーク担当取締役の上級副社長イアン・ロバートソンは、ニューヨークで催された授賞式でこのように述べた。「BMW i8 は、そのユニークなライトウェイト構造と他社の追従を許さないネットワーク化によって未来を形づくりします。本日、ワールド・グリーン・カー賞を 2 年連続で受賞したことにより、BMW i 製品がサステナビリティの分野で世界をリードしていることが証明されました。」

BMW i8 は BMW グループ初のプラグイン式ハイブリッド・カーであり、スポーツ・カーのドライビング・プレジャーとコンパクト・クラスの優れた燃費および排出ガス値が融合されている。BMW i8 は純粋な電気駆動で最長 37km まで走行することが可能であり、完全なスポーツ・カーのスタイルでの加速、コンパクト・クラス・レベルの平均燃費を達成できる。BMW ツイン・パワー・ターボ・テクノロジーを搭載した 1.5 リッター 3 気筒ガソリン・エンジンが電気モーターと組み合わせられており、電気モーターのバッテリーはコンセントや充電ステーションから、あるいは走行中に充電することが可能である。BMW i8 のシステム出力は 266kW[362ps]、0-100km/h 加速はわずか 4.4 秒(燃費(複合モード): 2.1ℓ/100km、CO<sub>2</sub> 排出量(複合モード): 49g/km)\*である。炭素繊維強化プラスチックなどの革新的な素材やエネルギー効率の高い製造方法を幅広く採用していることでも、i8 は将来性のある総合コンセプトを打ち出している。さらに、オプション装備されるレーザー・ヘッドライトおよび電気自動車専用開発された BMW コネクテッド・ドライブのサービスが BMW i8 の進歩的な方向性を強調している。

「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」は 2005 年から毎年、ニューヨーク国際自動車ショーのオープニングに合わせて授与されており、自動車業界の最も権威ある賞の 1 つである。審査員団は 20 カ国のジャーナリスト 75 名で構成されている。賞の授与に先立って、毎年夏に各部門にノミネートされるモデルが発表され、その中から専門家委員会または審査員たちが各部

門に対して5モデル(「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」および「ワールド・グリーン・カー」)または10モデル(「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」「ワールド・ラグジュアリー・カー」「ワールド・パフォーマンス・カー」)の車両を候補に挙げる。この中から再び審査員団がジュネーブ・モーターショーまでに最終選考の3モデルを選出し、最終的にニューヨークで最優秀賞が発表される。

BMW EfficientDynamics 開発戦略を体現した BMW 118d(2008 年)、前年の BMW i3 に続き、BMW i8 は BMW グループにとって、「ワールド・グリーン・カー」を受賞した3つ目のモデルとなった。

新型乗用車の公称燃費、公称 CO<sub>2</sub> 排出量および電力消費量に関する詳細情報は、「Leitfaden über Kraftstoffverbrauch, die CO<sub>2</sub>-Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen(新型乗用車の燃費、CO<sub>2</sub> 排出量および電力消費量に関するガイドライン)」に記載されている。これは、すべての販売店、Deutschen Automobil Treuhand GmbH (DAT) および同社ウェブサイト(<http://www.dat.de/angebote/verlagsprodukte/leitfaden-kraftstoffverbrauch.html>)で入手できる。

## BMW i8 について

高性能マシンのスポーツ性を持ちながら小型車並みのすぐれた燃費効率を兼ね備えたプラグイン・ハイブリッド・モデルである。LifeDrive(ライフドライブ)構造と呼ばれる革新的な車体の基本構造コンセプトを採用しており、パワートレインなどを収めるシャシーの役割を果たすアルミニウム製 Drive Module(ドライブモジュール)および乗員などが搭乗する基本骨格(パッセンジャー・セル)となる炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製 Life Module(ライフモジュール)により構成されている。ボディ剛性と乗員保護性能に優れている CFRP は高い強度を誇りながら、スチールより 50%、アルミより 30%軽量であり、バッテリーによる重量増を、革新的な CFRP とアルミのアーキテクチャーを用いることで相殺し、軽量化と低重心化は、卓越した運動性能にも大きく貢献している。これにより、BMW の特徴である 50:50 という理想的な重量配分と後輪駆動にもこだわる BMW i8 は、未来の駆けぬける歓びを提案している。

その他の BMW i8 の主な特長は、下記の通りである。(数値は参考値)

- 最大出力 170kW/231ps、最大トルク 320Nm の直列 3 気筒 1,499cc の BMW ツインパワー・ターボ・エンジンを搭載。
- 電気モーターは、定格出力 96kW/131ps、最大トルク 250Nm を発生。
- BMW ツインパワー・ターボ・エンジンおよび電気モーターの組み合わせにより、システム・トータル最高出力 266kW/362ps、最大トルク 570Nm となり、0-100km/h の加速は 4.4 秒を、EU テスト・サイクルでの燃費は 2.5l/100km(100 キロメートルを走行するのに 2.5 リッターの燃料を消費)の低燃費を実現。
- 電気モーターのみでの走行の場合、最高速度 120km/h まで走行可能で、最長 35km までゼロ・エミッション電気走行ができる。
- 運動性能と効率性のバランスを最適化するコンフォート・モードによる走行では航続距

離が 500km 以上。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、  
BMW i カスタマー・インタラクション・センター:フリーダイヤル 0120-201-438 を  
ご掲載ください。

受付時間: 平日 9:00-19:00

土日祝 9:00-18:00 年中無休

BMW ジャパン・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:  
BMW Japan Corp. 広報室:03-6259-8025(企業広報)